



モブキャストグループ  
第17期 2020年12月期  
第2四半期決算説明資料

2020年8月13日（木）

株式会社モブキャストホールディングス  
（証券コード：3664）



# 目次

---

- 01 2020年12月期 第2四半期 決算概要
- 02 2020年12月期 第2四半期  
Strategy2020 進捗状況
- 03 APPENDIX

# 01

2020年12月期 第2四半期  
決算概要



# 売上高17億円、当期純利益 8 億円

新型コロナウイルスの影響を受けるも、営業利益（のれん償却前）は前年同Qに対して+3.8億、前Qに対して+1.7億と劇的に改善。

- ・ゲームス：継続して営業黒字化できる安定的な体質へ。
- ・ゆとり：新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により、主力の百貨店売上に大きな影響有り。ただし6月の百貨店売上の堅調な推移およびEC売上が寄与し、営業黒字に転換。
- ・トムス：新型コロナウイルス感染症の影響によりレースは開催されなかったものの、コロナ対策の新規ビジネスなどの施策を実行し、営業黒字に。
- ・特別利益としてトムス株式譲渡益10億円計上により、当期純利益は8億円。

(単位：百万円)

	2020年 2Q	2020年 1Q	QOQ	2019年 2Q	YOY
売上	1,759	2,047	85.9%	1,544	113.9%
のれん償却前 営業利益	▲52	▲230	-	▲440	-
営業利益	▲75	▲253	-	▲445	-
経常利益	▲123	▲285	-	▲469	-
当期純利益 <sup>※</sup>	822	▲228	-	▲464	-

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

## 売上高 6 億円、営業利益もプラスを維持 (のれん償却前)

- ・パブリッシングモデルからプロデュースモデルへ転換し、販管費は前年同Qから2.5億円の削減達成。
- ・「エヴァンゲリオンバトルフィールド」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により劇場公開が延期となったことから、想定売上には届かず。

(単位：百万円)

	2020年 2Q	2020年 1Q	QOQ	2019年 2Q	YOY
売上	656	881	74.5%	948	69.2%
のれん償却前 営業利益	0	10	0.6%	▲195	-
営業利益	▲9	1	-	▲195	-
経常利益	▲38	▲9	-	▲207	-
当期純利益	▲58	43	-	▲231	-

2020年12月期  
 第2四半期決算サマリー  
 - TOM'S -

## 売上高 5 億円、営業利益0.5億円 (のれん償却前)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により全てのレースが下期以降に開催となるものの、レースのスポンサー売上は計画どおりに。
- ・除菌スプレーやガレージセールなど、新型コロナ対策で講じた施策が売上・利益に寄与。

(単位：百万円)

	2020年 2Q	2020年 1Q	QOQ	2019年 2Q	YOY
売上	563	520	108.4%	562	100.2%
のれん償却前 営業利益	55	▲93	-	▲130	-
営業利益	52	▲95	-	▲134	-
経常利益	49	▲99	-	▲136	-
当期純利益	50	▲91	-	▲107	-

2020年12月期  
第2四半期決算サマリー  
- ゆとりの空間 -

## 売上高 5 億円、営業利益0.3億円 (のれん償却前)

モブキャストグループ参画後のPMIは、順調に遂行。経営基盤が整う。

- ・4月、5月の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、主力の百貨店売上は百貨店の休業により減少するも、6月は堅調に推移。また、強化してきたEコマースが前年同期比185%で推移し、売上減少最小化に寄与。
- ・新型コロナウイルス感染症による休業に関わる費用を特別損失に計上し販管費負担を軽減。

(単位：百万円)

	2020年 2Q	2020年 1Q	QOQ	2019年 2Q*	YOY
売上	538	642	83.8%	-	-
のれん償却前 営業利益	33	▲21	-	-	-
営業利益	23	▲31	-	-	-
経常利益	21	▲32	-	-	-
当期純利益	▲2	▲35	-	-	-

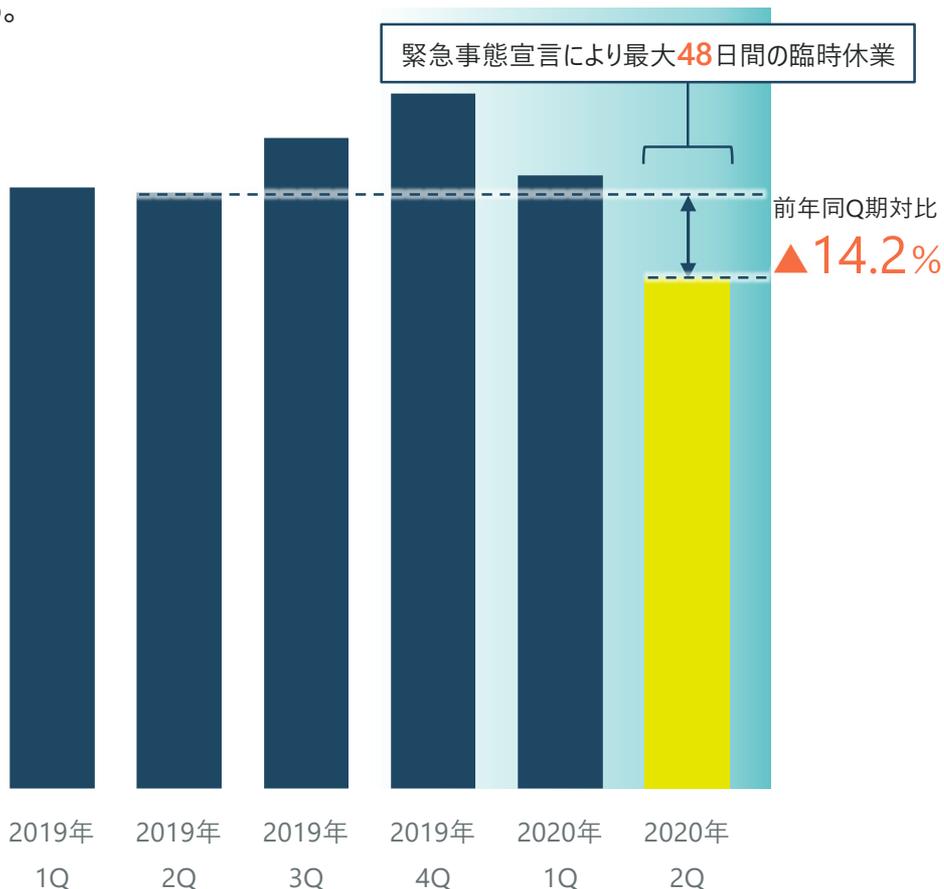
※ 2019年3Q以前の数値は未監査のため、非開示とさせていただきます

- ゆとりの空間 -

# モブキャストグループ入り後、順調に成長への基盤が整う

## 四半期売上推移

- 4/7緊急事態宣言発令後、最大**48**日間百貨店が閉店し、主力の百貨店での売上が立たなかった。
- しかしながらモブキャストグループ入り後、進めてきた経営基盤整備およびEC強化により売上前年同期対比で**▲14.2%**減に留める。



## 四半期EC売上推移

- モブキャストグループ入り以来、重点強化してきたEC売上は**新たな顧客層獲得**に成功し、前年同期比**+82.5%**に成長。
- 上記に大きく寄与した栗原心平公式「**ごちそうさまチャンネル**」は5月の開設から2ヶ月で約**5万人**のチャンネル登録者を獲得。



# 02

2020年12月期 第2四半期  
Strategy2020 進捗状況



# モブキャストグループ「グローバルニッチ」戦略

**MOBCAST**

強い“想い”と影響力を持つ  
才能資源・ブランドに  
共感しシナジーを生む



共同プロジェクト

共同事業会社

M&A

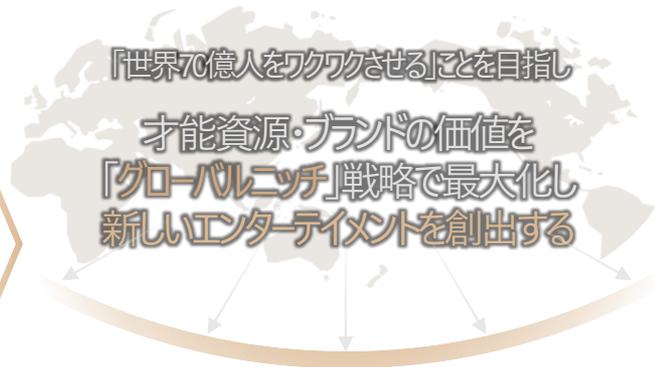


**MOBCAST GROUP**

STRATEGY  
グローバルニッチ戦略

- 継続成長できる仕組み作り
- 多様な資金調達ノウハウ
- エンタメ・IT業界ネットワーク

**MOBCAST FINANCIAL** M&A IPO 支援



**MOBCAST GAMES** キャラクターのファンに デジタルコンテンツを通じたワクワクを

**yutori no kukan** 家族の食卓にワクワクを

**TOM'S** 世界の自動車・レースファンにワクワクを

**Les Trois Grates** 「美」のワクワクを

**enhance** 未来のエンタメ経験創造を通じたワクワクを

**The Human Miracle** 未来型体験を通じたワクワクを

**ARANCIONE** 親子で楽しめるワクワクを



今後の新規事業創造

# グローバルニッチ戦略の推進

国内でニッチ市場に対し抜群の影響力があるブランド資源を「グローバルニッチチャンネル」を通して世界中のニッチユーザーに届け、コアファンへグロースさせる。



ホールディングス内に新設した「グループマーケティング推進室」が主体となって戦略を推進中。  
2Qでは「ゆとりの空間」内にて、栗原心平公式『ごちそうさまチャンネル』を開設し、  
Eコマース売上やブランド認知およびブランド力向上に寄与。

## - MOBCAST GAMES - Strategy2020 進捗状況

2Qでは旧体制から脱却し、  
営業利益を計上できる体質へ転換。

1

### スポーツゲーム分野から撤退完了

スポーツゲームの譲渡を終え、プロデュースモデルに特化した人員体制への転換も終了。継続してコスト効率を意識した経営へ。

2

### グローバル市場へ

新型コロナウイルスの世界的蔓延の影響を受け想定していた計画は遅延。引き続き、欧米や中華圏を中心にしたグローバル市場に向けての展開を準備中。

3

### キャラクターマネジメント事業の確立

2020年上期は戦略を実行できる体制への転換に集中。下期以降で、キャラクターの価値を最大化させる新たな事業の確立へ。



強みを活かしたIPプロデュース集団

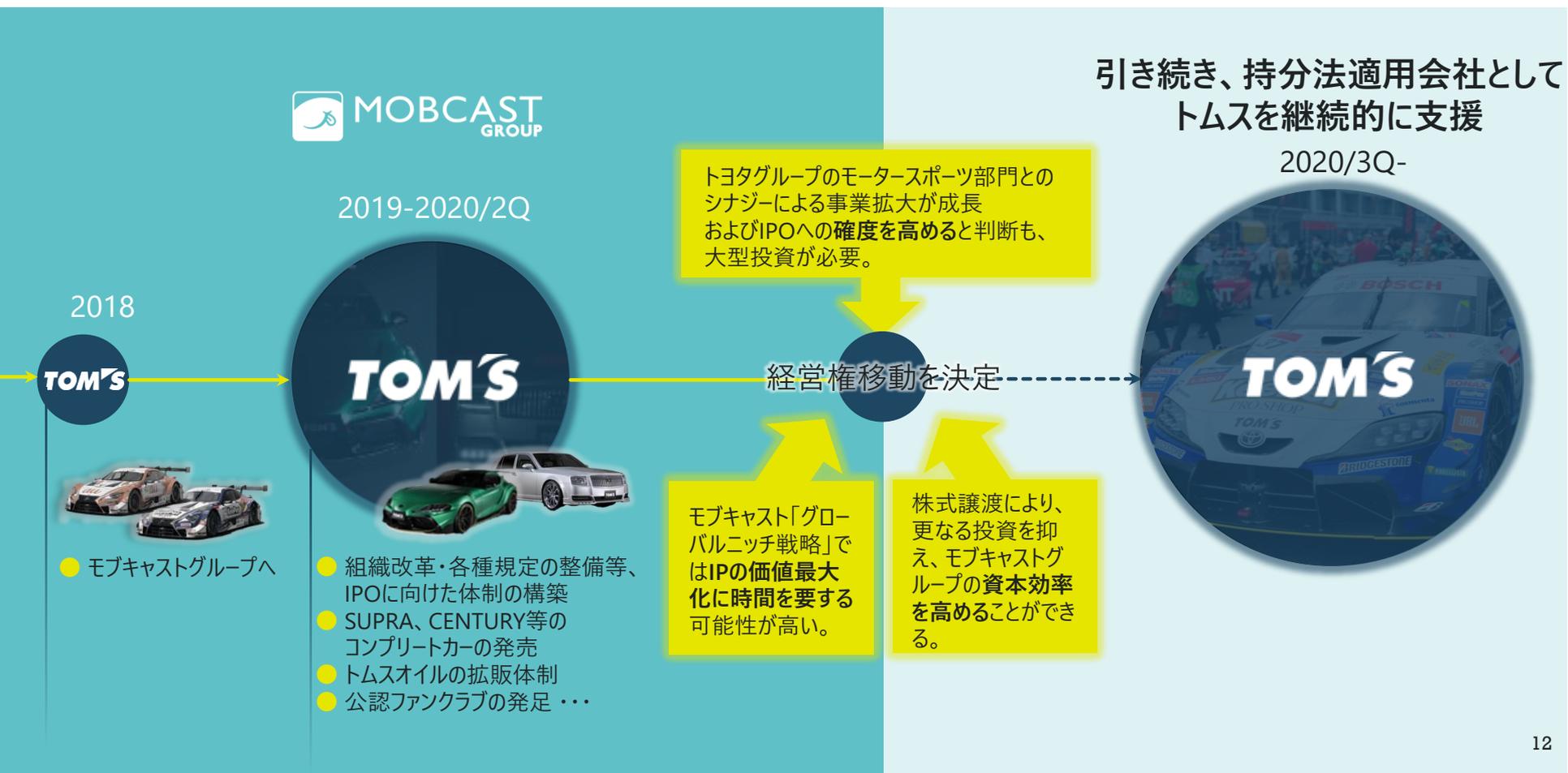
下期以降での  
更なる成長への体制が整う



# トムスの株式一部譲渡について

以下、3点の理由より株式一部譲渡を決定。

- 1 事業成長及びIPOへの**確度を高めるのは**“トヨタグループとの連携を深めること”。  
- そのためにはトヨタグループが推進する中長期プロジェクトへの連携のため、今後さらに大型投資が必要に。
- 2 グローバルニッチ戦略から鑑みて、**IPの価値最大化に時間を要する**。
- 3 モブキャストグループの**資本効率を高めることができる**。



- ゆとりの空間 -  
Strategy2020 進捗状況

モブキャストグループ参画後のPMIは順調に進行し、IPOに向けた経営基盤が整う。  
ブランディングが明確化され、新たな顧客基盤の獲得につながる。



**1 IPOに向けた経営基盤・事業基盤の強化**

経営基盤を整えるために執行役員制度開始。その結果、資金調達、社員リモート制度、マーチャンダイジングの改善、在庫管理徹底、事業数字進捗仕組み化などを構築。  
コロナ禍における課題を迅速に対処が可能となった。

**2 PR力×企画力で更なるユーザーへ価値を提供**

栗原心平公式YouTubeごちそうさまチャンネル立ち上げ。チャンネル登録数5万人突破し、EC売上及びブランド認知の向上に寄与した。



**3 EC事業の強化**

SNS投稿積極化で認知・集客間口拡大。会員特別サービスや栗原はるみレシピによるスイーツ商品強化で新規顧客獲得に成功。コロナ禍による内食需要旺盛で調理器具販売も増加。



## 2020年12月期 通期業績予想

### 新型コロナウイルス感染症の影響から、引き続き業績予想は「未定」

- ・株式譲渡によりトムスは3Q以降は連結の範囲から除外され持分法適用関連会社となるため、3Q以降の業績予想にはトムスの業績は含まない。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大による非常事態宣言により業績予想を策定した期初時点から外部環境が大きく変化。また、足元で感染者数が増加しているなど、この先の状況を見通すことが困難であり、業績への影響を合理的に見積もるのが難しいことから、業績予想は引き続き「未定」に。
- ・業績予想の算出が可能となったタイミングで速やかに公表予定。

(単位：百万円)

参考：実績数値

	2020年2Q累計		2019年 通期
	グループ計	うち、トムス	
売上	3,806	1,083	6,681
のれん償却前 営業利益	▲283	▲38	▲981
営業利益	▲328	▲42	▲1,016
経常利益	▲408	▲49	▲1,199
当期純利益	594	▲41	▲1,428

## 免責注意事項



本資料には、将来の予測や、見通し、判断、戦略等に関する記述が含まれていますが、それらの記述は、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。

各種要因の変化等により、実際とは異なる可能性がございます。

本資料の作成にあたっては、記載されている情報に誤りや漏れ等が無いよう、の注意を払っておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。

# 03

## APPENDIX



## 会社概要

社名	株式会社モブキャストホールディングス (MOBCAST HOLDINGS INC.)
本社所在地	東京都港区六本木六丁目8番10号 STEP六本木 4階
代表者	藪 考樹
設立年月日	2004年3月26日
資本金	786,883千円 (2020年6月末日時点)
連結従業員数	242名 (2020年6月末日時点 )
事業概要	グループ戦略、成長戦略の策定およびそのマネジメント エンタテインメントコンテンツ化IPやブランドの保有

## 四半期決算推移

(単位：千円)

	2019年			2020年	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	1,544,503	1,464,314	2,230,077	2,047,593	1,759,374
売上原価	1,190,937	1,125,306	1,373,926	1,327,051	1,013,359
売上総利益	353,566	339,008	856,151	720,542	764,014
販管費	798,872	603,068	964,309	973,666	821,076
営業利益	▲ 445,305	▲ 264,060	▲ 108,158	▲ 253,123	▲ 75,062
経常利益	▲ 469,270	▲ 320,353	▲ 194,534	▲ 285,106	▲ 123,494
四半期純利益(※)	▲ 464,159	▲ 317,791	▲ 463,880	▲ 228,271	822,352
総資産	4,495,115	6,953,844	6,941,708	6,910,569	5,243,549
純資産	554,972	895,929	685,572	523,061	1,814,981

(※) 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益数値です。

# 株式情報

## 株式の状況

発行済株式数 * 1	27,669,308株
大株主の状況 * 1	
藪 考樹	16.51%
(株)S B I 証券	2.60%
株式会社でらゲー	1.74%
寺田 航平	1.62%
ハクバ写真産業(株)	1.26%
海老根 智仁	1.06%
CREDIT SUISSE AG, SINGAPORE BRANCH - FIRM EQUIY (POETS)	0.94%
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	0.93%
楽天証券(株)	0.92%
日本証券金融(株)	0.81%

## 株価関連指標

株価 * 2	169円
時価総額 * 2	4,676,113千円
総資産 * 1	5,243,549千円
純資産 * 1	1,814,981千円
PBR * 2	2.59倍
PER * 2	7.10倍

\* 1 : 2020年6月末日時点

\* 2 : 2020年8月12日時点